

University  
Current  
Review

ISSN 0288-1748 2023(令和5)年 3月20日発行【隔月刊】

[特集] 低学年次からのキャリア教育

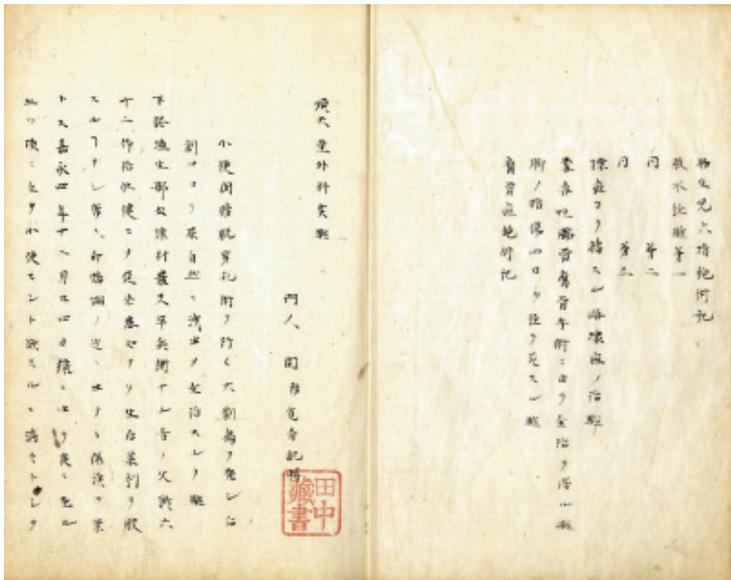
# 大学時報

NO.409  
2023. **03**



日本私立大学連盟

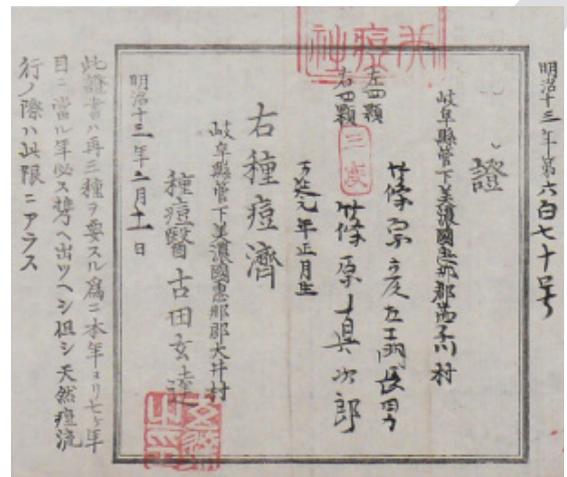
# 順天堂大学



順天堂外科実験



病院旗



種痘用器具及び、種痘証明書

## 先駆的な医療の歩みを綴った歴史的資料

順天堂は1838(天保9)年に初代堂主 佐藤泰然が江戸(日本橋)の薬研堀に設立したオランダ医学塾に端を発し、今に繋がる日本最古の医療機関である。患者さんのために最善・最先端の医療・教育を提供し続けてきた順天堂が所蔵する歴史的資料を「順天堂のたから」として紹介する。

漢方医学が主流の江戸時代後期に、順天堂は当時は珍しい西洋流の外科手術を高いレベルで行っていた。また後進の育成のために門人を臨床の現場に立ち会わせていた。この取り組みから生まれたのが門人の関寛斎による『順天堂外科実験』であり、江戸時代では他に例がない詳細な外科治療の様子が記されている。開国前で西洋人の医師から教えを受けることができなかったなか、オランダ語書籍から知識を得て、創意工夫を加えて実践していたことが窺える。

第三代堂主の佐藤進は戊辰戦争時に請われて

新政府軍の負傷兵を治療した。そのとき、負傷兵を治療する野戦病院に掲げられていたのが「病院旗」である。江戸から明治への時代の転換を目標とした旗であり、初めて「病院」という言葉が公的に用いられた例でもある。

順天堂は一貫して西洋医学の実践と教育に注力しつつ、現在は第九代堂主小川秀興理事長の下、国際健康総合大学院大学としてさらなる発展を続けているが、最先端を切り拓くとともに、初代堂主以来の歩みの積み重ねも大切にしてきた。本郷・お茶の水キャンパスのセンチュリータワー内には、2014年4月の開館披露時に天皇皇后(現上皇皇后)両陛下に御内覧いただいた「日本医学教育歴史館」\*が設置されており、国内の医療・医学教育の歴史に関する貴重な資料を多数展示している。

\* Webサイト: <http://www.juntendo.ac.jp/jmehtm/>





アクティブ  
カラフル &

# 22年 50周年

RISSHO UNIVERSITY

よりアクティブで、よりカラフルで、より革新的な学園として進化し続けるために。  
社会を担う一翼であり続けるために。

150周年を迎え、さらには、その先の未来へ。

伝統と革新が融合する新たな立正大学学園が、今ここに立ち上がります。

150<sup>th</sup>  
RISSHO

20  
開校1



立正大学学園は2022年、開校150周年を迎えました。

その間、学園で学び羽ばたいていった誠実でまじめな学生・生徒たち。

先導的で独創的な研究成果を発信し、教育に活かしていく教授陣。

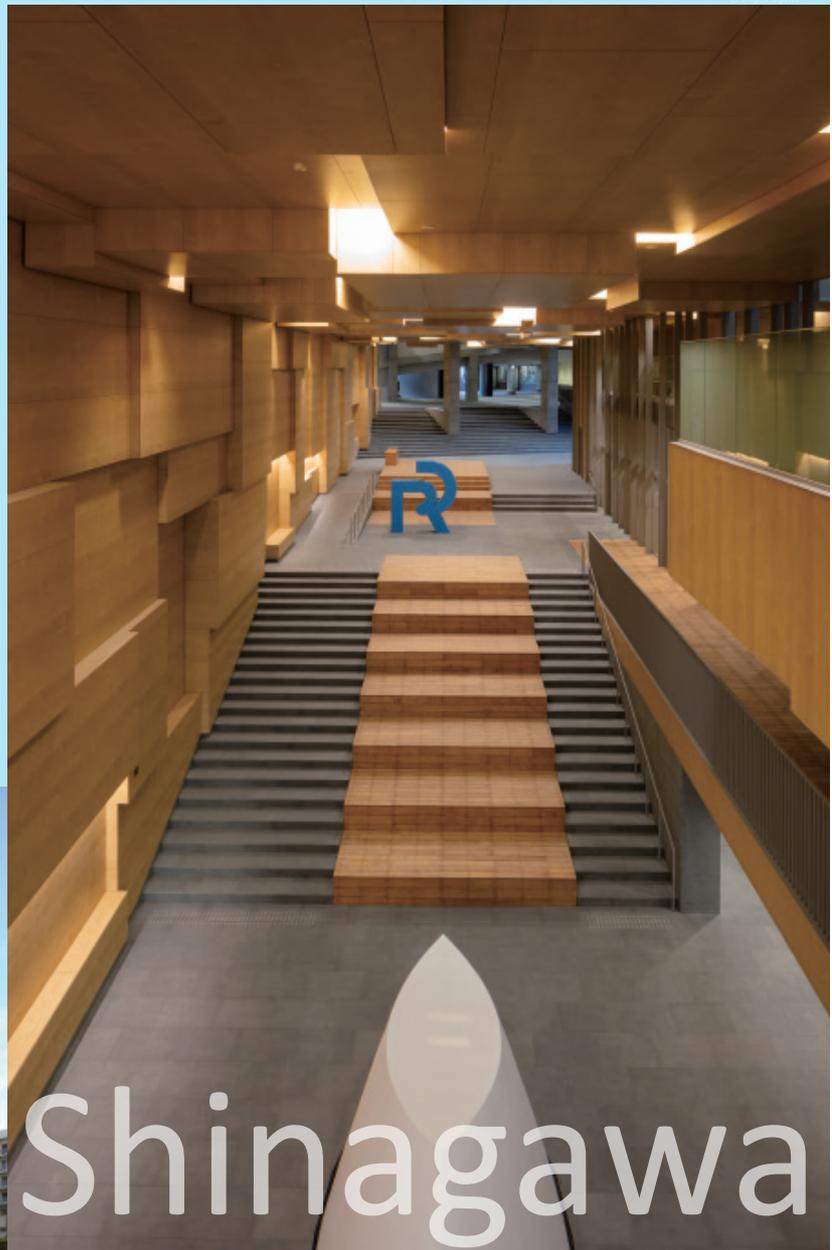
そんな立正らしさはそのままに、私たちは新たなイノベーションを起こしていく。

## 品川キャンパス

東京副都心として時代の息吹あふれる品川・大崎地区に位置し、交通アクセスにも恵まれた品川キャンパス。総合学術情報センターなどのIT施設をはじめ、学びの空間として最良の環境が整っています。

また、開校150周年記念事業の一つとして2021年に150周年記念館が品川キャンパスの新たな顔となりました。地下2階地上11階建て

の13号館、地下2階地上4階建ての6号館からなる記念館は、街とキャンパスをつなぐゲートウェイであると同時に、本学の教育・研究ほか、様々なアクティビティを活発化し発信する機能を持つ3つのエリアから構成されています。



Shinagawa

# Kumagaya



## 熊谷キャンパス

武蔵丘陵森林公園の近隣に位置する緑豊かな熊谷キャンパス。

東京ドーム8個分に相当する約35万㎡の広大な敷地は、ツインタワーの学生寮、硬式野球部、サッカー部、ラグビー部からなる強化クラブ団体をはじめとした各種スポーツの専用グラウンドなど、多彩な施設が整っています。

品川キャンパス同様、クリーンキャンパス宣言とともに、(公財)都市緑化機構よりSEGESの認定を受けたエコキャンパスを推進しています。

2021年度には、本学9番目の学部となるデータサイエンス学部を設置。文理融合型の学びを通して、実社会で活躍できる人材の輩出を目指しています。

150<sup>th</sup>  
RISSHO

2022年 開校150周年

アクティブ  
カラフル&



大崎キャンパス校舎[1924(大正13)年]



辰野金吾氏設計による日蓮宗大学講堂[1918(大正7)年]

1872(明治5)年  
東京芝二本榎に小教院を設立

1904(明治37)年  
日蓮宗大学林設置  
大崎(現 品川)キャンパス設置

## 1872年開校、 150年の歴史を受け継ぐ立正大学



熊谷キャンパス再整備工事竣工[2009(平成21)年]

1967(昭和42)年  
熊谷キャンパス開設

2022(令和4)年  
開校150周年



石橋湛山  
立正大学学長(第16代)  
内閣総理大臣(第55代)



150周年記念館[2021(令和3)年]



# 立正大学

「モラリスト×エキスパート」を育む。

## 9学部16学科7研究科に1万人が学ぶ総合大学

[学部] 心理学部/臨床心理学科、対人・社会心理学科 法学部/法学科 経営学部/経営学科 経済学部/経済学科  
文学部/哲学科、史学科、社会学科、文学科(日文、英文) 仏教学部/仏教学科、宗学科  
データサイエンス学部/データサイエンス学科 地球環境科学部/環境システム学科、地理学科  
社会福祉学部/社会福祉学科、子ども教育福祉学科

[大学院] 心理学研究科 経営学研究科 法学研究科 経済学研究科 文学研究科  
地球環境科学研究科 社会福祉学研究科



品川キャンパス 〒141-8602 東京都品川区大崎 4-2-16

JR大崎駅/JR・都営浅草線 五反田駅徒歩5分 東急池上線 大崎広小路駅徒歩1分

熊谷キャンパス 〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

JR熊谷駅バス10分 東武東上線森林公園駅バス12分

University Current Review

# 大学時報

2023.03 / NO.409



## 150年の先へ

寺尾 英智 立正大学学長

2022年、立正大学学園は開校150周年という大きな節目を迎えた。9学部16学科7研究科を擁する総合大学へと発展をとげ、多くの卒業生を送り出してきた。変化が激しく、予測困難な事象にあふれる現代社会であるからこそ、柔軟な対応力を持つとともに、それを支えるベースを持った自立的な人材が要請される。「真実・正義・和平」を希求する建学の精神を基盤とし、「モラリスト×エキスパート」を体現する人材をさらに輩出していきたい。

## 仏教の教えを現代に繋げる試み

各務 洋子 駒澤大学学長

はじめに

「心の資本は十分ですか」ちょうど1年前、日本経済新聞2022年1月1日新年特集号で「成長の未来図」という特集が始まり、その冒頭のメッセージであった。大学での講義を通して常に頭から離れない問題ではあったが、時宜を得たタイトルで胸に刺さった。その後、昨年5月31日、経済産業省が今後の人材政策などを検討するために設置した「未来人材会議」が「未来人材ビジョン」を公表した。掲載されたデータは、日本の国際競争力の低下を示すものが多く、我が国の人材問題がもはや危機的状況にあることを突き付けられるばかりである。国際経営開発研究所（IMD）による国際競争力が1989～1992年には1位だった日

本が下降を続け、2020年に過去最下位の34位となり、昨年2022年に2度目の34位と発表されたことにも象徴されるものばかりであった。

本来はランキングなどの指標に振り回される必要はないのだが、それは、1位から34位に競争力が落ちた要因と、その背景を認識していることと同時に、表層的な順位などどこ吹く風と言える確固たる強みを我々一人ひとりが確信をもって言える場合に限るのではないだろうか。それが言えないことが深刻さを際立たせる。

こうした状況の中、我々にますます求められるのは機会と脅威に俊敏に対応しつつ、独自性、主体性に揺るぎない信念をもつ人材とその育成である。そこで、本稿では信念をもつ人材育成の柱となる本学教育の目

的、理念について、いかに分かりやすく現代の学生に繋げようとしているのかという試みを紹介する。

## 1. 諸行無常の中で必要なこと

学校法人駒澤大学の長期ビジョン策定の背景として、世界レベルではグローバル化、情報化、ボーダレス化が進み、AIやIoT等の第四次産業革命が起こり、社会の不確実性が拡大している中で、国内レベルでは、知的基盤社会は大きく進展するものの、少子高齢化が加速し、地域間格差や経済間格差はますます広がっている。変化が激しく先が見通せないVUCAの時代、まさに諸行無常の世の中において、いかなる状況下においても本質を見極め、自他（自利・利他）の視点で自分の能力を最大限に発揮できる人材が求められる。そこで本法人は「長期ビジョン」並びに「5つの改革大方針」を定め、法人全体が一丸となって未来に歩むことで、今後の発展に寄与することを目指すこととした。

駒澤大学は、本年2022年度に140周年を迎えたが、さらに原点にさかのぼれば430年という長い

歴史と伝統をもつ仏教、曹洞宗によって設立された、仏教系の大学である。文禄元（1592）年に江戸駿河台にあつた吉祥寺という寺に開かれた「旃檀林」という学寮から発展した。仏教を創唱された仏陀、大本山永平寺を開かれた道元禅師、大本山総持寺を開かれた瑩山禅師を「一仏両祖」と総称し尊崇する。その仏教や禅の教えは仏教界だけのものではなく、万人の生き方に深く関わる普遍性を持つと説く。近年、多くのスタートアップをはじめとした先端的なグローバル企業が、マインドフルネス、ZENを研修に取り入れている。国際競争力では低迷している我が国が、そのオ리지ナリティである禅をZENとして世界から求められている状況は、日本人として非常に興味深い。

## 2. 仏教の教えから建学の理念へ

仏教とは仏陀の教えであり、仏陀（仏）とはさとりを開いた覚者の意であり、一般名称である。紀元前5世紀ごろ、さとりを開き仏陀となった釈尊（釈迦牟尼仏）は、一人でも多くの人にさとって欲しいと願い、たくさん

教えを遺した。釈尊の教えは後にアジア諸国はもちろんのこと、現在では全世界に広まっている。聖徳太子以来、日本の歴史文化に大きな影響を及ぼしていることはいうまでもないが、鎌倉時代に、釈尊の生涯を敬慕し敬仰した道元禅師は、中国から「曹洞宗の坐禅の教え」を伝え、多くの人々を教え導いた。後に瑩山禅師の活躍があり曹洞宗教団の基礎が確立し、曹洞禅の法統が今日まで脈々と継承されている。

釈尊のさとりは智慧と慈悲と定義される。さとりは証明は智慧と慈悲を体現していることといえる。智慧とは、「この世に存在するものはすべて、相應の原因や条件によってあり、単独で存在するものはない」という「縁起」の理法を体得する叡智のことである。慈悲とは、智慧に基づき、世のため人のために何ができるか、いつも心を配り、言葉で伝え、行動で示す利他行のことである。「仏道をなろうというは自己をなろうなり」とは道元禅師の名言である。仏陀の教えに学ぶことが、自分自身の生き方を決めることになるという。

前述の人間観を、本学は「建学の理念」として一語で「行学一如」と表現する。この語は、仏の慈悲を行い、

仏の知恵を学ぶことが人生終極の大事（一如）であるという意味である。この理念をさらに具体的に「信・誠・敬・愛」の四字句で示している。すなわち、信義を重んじ自らの信念にもとづいて責任ある言動ができること、誠心誠意真心を込めて誠実にコトに当たれること、敬慕敬仰の念で先人を敬い、どんな小さな命も大切にすること、慈悲の心で顧愛の言語、行動ができることである。本学は、こうして時代と社会の変化をしっかりと受けとめ、未来を見据え、智慧をはたらかせ、慈悲の心をめぐらせて、力強く積極的に社会参加する人材を打ち出すよう、教職員一同総がかりで「建学の理念」に基づいた『駒澤人』の育成に努めることとしている。

### 3. 理念を現代に繋げるために

前述の理念を現代に繋げるために、学校法人駒澤大学長期ビジョン「駒澤2030」をまとめた。その長期ビジョンとして、「多様な繋がりの中で培われた広い視野と自他への深い洞察により、いかなる状況下においても本質を見極め、人と人との思いの繋がり<sup>①</sup>を駆使し、社

会変化を乗り越えるための自己研鑽をし続け、卒業後も成長し続ける人材を育成します。」と掲げた。その内容を4つに分けると以下のようになる。

#### 1 『自他協創』

「自利・利他」を一言にまとめた「自他」と、人と人とを繋げるネットワークを活用し革新的なアイデアを生み出す力を表現したビジネス用語である「協創」を繋げ『自他協創』という造語を作り、本法人の学生・生徒の特性を表現した。

#### 2 『繋がり』

本法人の環境特性や、過去から継続している未来に向けた人材育成を表現した。

#### 3 『ともに社会変化を乗り越える』

先が見通せない社会の中においても、一人ではなく協創で乗り越えられる人材育成を表現した。

#### 4 『自己研鑽し続ける』

建学の理念に基づき、学びと実践をし続ける人材育成を表現した。

この長期ビジョンに続いて、5つの改革大方針を掲げた。

#### (1) 人類・世界に貢献する精神を早期に涵養

若年層人口の減少や、知的基盤社会の急速な進展に伴う就業構造の変化等、変化が激しく先が見通せない時代が到来することを踏まえ、本法人が設置する大学や高等学校の魅力化推進や、高大連携の更なる深化を図ることで法人全体の「繋がり」を形成し建学の理念に基づく人類・世界に貢献する精神を早期から涵養する。

#### (2) 生涯を通じた成長の基盤となる教育を体系化

多様な学問・多くの人々との「繋がり」のもと、入学前から卒業後までの一貫性のある教育理念に基づく総合的な学修支援体制を整備するとともに、これに基づく基礎教育を起点とする体系化された教育プログラムと丁寧で厚みのある育成支援型教育による「繋がる」教育を推進することで学修意欲の向上に「繋げ」卒業後も成長し続ける人材を育成する。

#### (3) 禅を中心に据えた新しい知の枠組みを研究し世界に発信

グローバル化の進展を受け、平成28年度文部科学省「私立大学研究ブランディング事業」採択を起点と

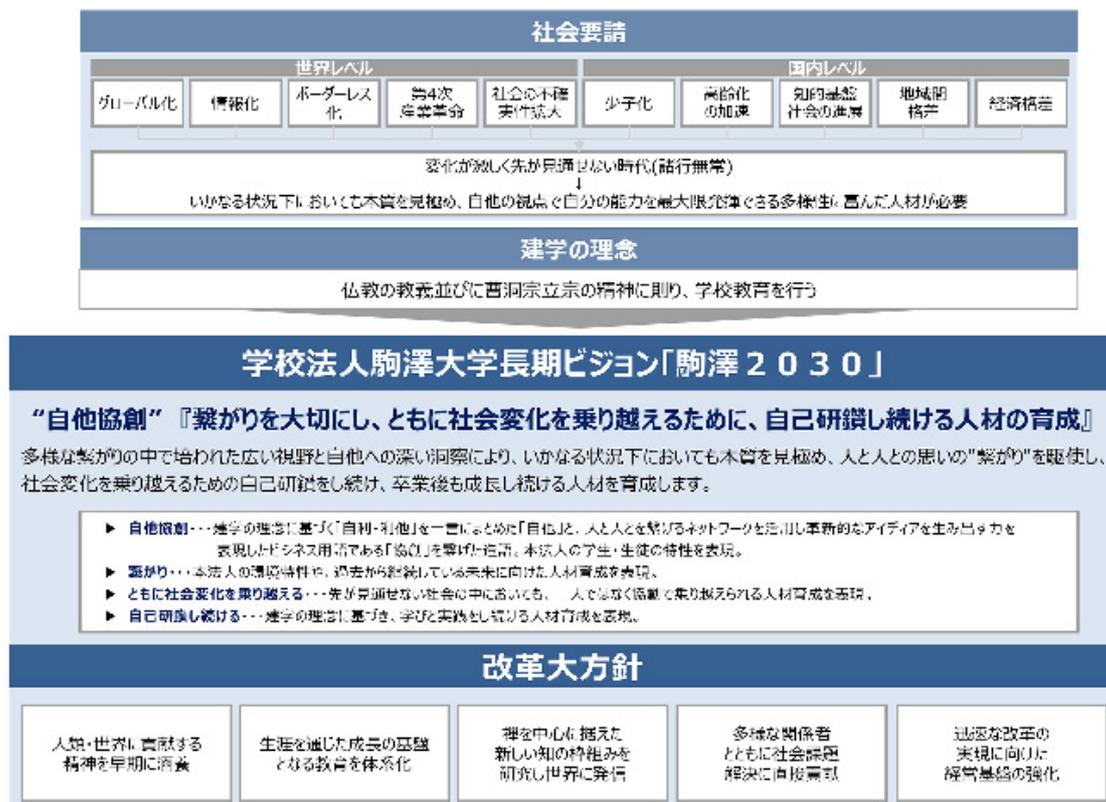
し、本法人の建学の理念の根幹であり、世界的にも注目を集めている「禅」を中心に据えた新しい知の枠組み（ブランド）の形成を図り、広く世界に発信することで法人全体の国際化、多様化に繋げられる。

(4) 多様な関係者とともに社会課題解決に直接貢献

産業界、官庁（地方公共団体）、地域社会といった社会からの要請に応じ本学の教育・研究活動の成果を社会に還元するとともに、社会からは本学の教育研究の発展に資する資源の提供を受け、双方が発展していくための「繋がり」（連携体制）を強化し、社会課題の解決に直接貢献する。

(5) 迅速な改革の実現に向けた経営基盤の強化

変化が激しく先が見通せない時代の到来により、高等教育機関を取り巻く環境の厳しさが増す中、激変する社会状況に的確かつ迅速に対応するため、法人全体のガバナンスを強化し、組織体制・意思決定プロセスの明確化を図るとともに、高等教育機関として不断の改革・改善を迅速に実現するための経営基盤の確立に努める。



[ 図 ] 学校法人駒澤大学長期ビジョン「駒澤2030」



2022年10月17日に落成開館を迎えたばかりの新図書館  
禅を今に伝える落ち着いたデザインで、禅籍目録をはじめとした貴重書が開架式で閲覧可能。

#### 4. 分かりやすいメッセージを求めて

こうして本学は、長きにわたる仏教の歴史と伝統を今の時代に繋ぎ、分かりやすく伝えることに注力している途上にある。2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後に続く指標として、2015年9月の国連サミットで加盟国が全会一致で採択となった「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載され、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標として掲げられた『持続可能な開発目標(SDGs)』が、今に生きる若者にも大変スムーズに広がった。17のゴール・169のターゲットがカラフルなロゴと共に提示され、「誰一人取り残さない」ことを誓う強いメッセージが人々の胸にダイレクトに刺さったからである。伝わり方は時代とともに変化を続けるが、伝えたいメッセージは揺るぎない。VUCAといわれる諸行無常の時代に生きる智慧は、仏教の淵源にさかのぼることにあるのではないかという思いは強くなるばかりである。揺るぎない信念をもつ人材の育成に尽力することが国力の回復に繋がることを願っている。